

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

H29. 8. 28 秋田県教育委員会

概 観

- 平成19年度の調査開始以降、連続して良好な状況にある。
 - ・各教科の平均正答率が、全国平均を3ポイント以上上回っている。
 - ・児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果において、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている項目が多い。

これらの成果は、家庭・地域・学校・大学等のオール秋田でつくってきた、優れた教育環境の下で成し遂げられたものであると捉えている。このことは、教科だけではなく、児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査において、児童生徒に望ましい生活習慣や学習習慣の定着が図られ、豊かな人間性等が育まれている状況を示す結果となって表れている。

“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”にみる秋田の優れた教育環境

- ・児童生徒の望ましい生活習慣・学習習慣
- ・各学校における児童生徒一人一人へのきめ細かな指導と授業改善への取組
- ・家庭・地域・学校の連携・協働による質の高い教育力

- 県教育委員会では、今回を含めたこれまで10回の調査結果により、これまでの施策・事業等の方向性や有効性について一定の評価をしている。特に、少人数学習推進事業、県独自の学習状況調査、各学校が実施している共同研究体制による授業研究等は、大きな効果があったと考えている。
- データを個別にみると課題もある。今後、検証改善委員会を立ち上げ、「昨年度までの課題の改善状況」「今年度の調査から明らかになった課題」等について詳細な分析を進め、各学校における検証改善サイクルの更なる推進に努めていく。
- 今後も、教育関係者はもとより、県民の皆様の御理解と御協力をいただき、オール秋田で「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を目指し、「教育立県あきた」の実現に努めていく。

調査結果の活用

- 本年度の調査は、小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象として実施された。県教育委員会では、インターネット上で自己採点結果の集計・分析が可能なシステムを構築し、各学校に提供している。既に、各学校においては自己採点を進め、自校の課題を明らかにして、その改善に向けて取り組んでいるところである。また、本調査を受けた児童生徒に対しては、個々に課題となっている学習内容を定着させることが大切であり、今後、その改善の方策を一層具体化して取り組むことになる。
- 県教育委員会では、今回の結果とこれまでの結果を併せて成果と課題を明確にし、調査結果の活用による指導の改善・充実に向けた取組を進めていく。特に、国と県の学力調査及び高校入試を一体として捉えた本県独自の検証改善サイクルを更に推進していく。具体的には、全国学力・学習状況調査での課題を明確にし、県学習状況調査で課題の改善状況を把握する。また、高校入試においても、「基礎的・基本的な知識・技能の活用」に関する力が把握できるような問題を出題し、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成に努めていく。

教科に関する調査の結果

◆概 要

- 小・中学校ともに、全ての教科において、本県の平均正答率は全国平均を3ポイント以上上回っており、良好な状況である。
- 小・中学校ともに、ほぼ全て（小：98.0%、中：94.7%）の問題において、本県の平均正答率は全国平均を上回っている。
- 正答数分布は、小・中学校ともに、全ての教科において、全国に比べて正答数の多い層が厚くなっている。（p3参照）
- 無解答率は、小・中学校ともに、全ての問題で全国平均を下回っている。
- 正答率が十分ではない問題については、指導の改善・充実を図り、児童生徒への学習内容を定着させていく必要がある。

小学校6年生の平均正答率

()は全国との差

教科	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19
国語A(知識)	80 (+5)	77 (+4)	76.0 (+6.0)	77.4 (+4.5)	71.7 (+9.0)	86.9 (+5.3)	89.3 (+6.0)	75.3 (+5.4)	74.4 (+9.0)	86.1 (+4.4)
国語B(活用)	64 (+6)	64 (+6)	76.4 (+11.0)	67.3 (+11.8)	59.1 (+9.7)	63.0 (+7.4)	84.8 (+7.0)	60.4 (+9.9)	62.9 (+12.4)	69.0 (+7.0)
算数A(知識)	84 (+5)	82 (+4)	81.2 (+6.0)	85.1 (+7.0)	82.8 (+5.6)	79.5 (+6.2)	83.2 (+9.0)	86.2 (+7.5)	80.7 (+8.5)	88.4 (+6.3)
算数B(活用)	50 (+4)	52 (+5)	51.5 (+6.5)	66.2 (+8.0)	67.1 (+8.7)	64.0 (+5.1)	59.0 (+9.7)	63.7 (+8.9)	58.9 (+7.3)	68.6 (+5.0)
理科			66.7 (+5.9)			68.4 (+7.5)				

中学校3年生の平均正答率

()は全国との差

教科	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19
国語A(知識)	82 (+5)	79 (+3)	80.8 (+5.0)	84.4 (+5.0)	81.9 (+5.5)	79.7 (+4.6)	79.8 (+4.7)	82.3 (+5.3)	78.6 (+5.0)	85.4 (+3.8)
国語B(活用)	78 (+6)	72 (+5)	70.7 (+4.9)	55.8 (+4.8)	74.6 (+7.2)	70.3 (+7.0)	71.7 (+6.4)	81.8 (+7.3)	66.8 (+6.0)	77.0 (+5.0)
数学A(知識)	68 (+3)	67 (+5)	68.4 (+4.0)	73.0 (+5.6)	68.9 (+5.2)	67.4 (+5.3)	70.8 (+6.2)	68.8 (+6.1)	70.1 (+7.0)	77.5 (+5.6)
数学B(活用)	52 (+4)	48 (+4)	46.9 (+5.3)	65.5 (+5.7)	47.5 (+6.0)	56.7 (+7.4)	50.0 (+6.7)	63.4 (+6.5)	54.7 (+5.5)	65.3 (+4.7)
理科			59.6 (+6.6)			56.1 (+5.1)				

* 平成22年度、平成24年度の平均正答率については、文部科学省から抽出調査における誤差も含めた「平均正答率の95%信頼区間」が公表されており、その区間の中央値を示しています。

* 都道府県別の平均正答率は、文部科学省から、平成27年度以前は小数第1位までの小数で、平成28年度以降は整数で公表されています。

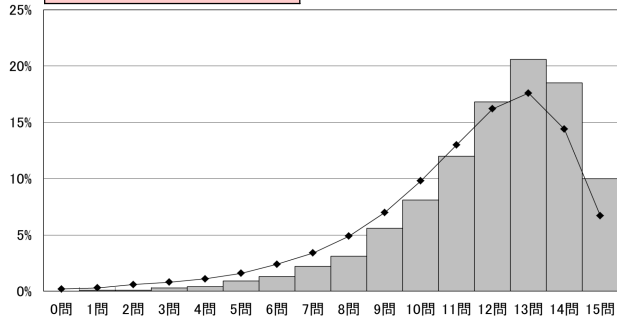
◆正答数分布グラフ（正答した設問数と児童生徒の人数の割合を示したグラフ）

【国語】

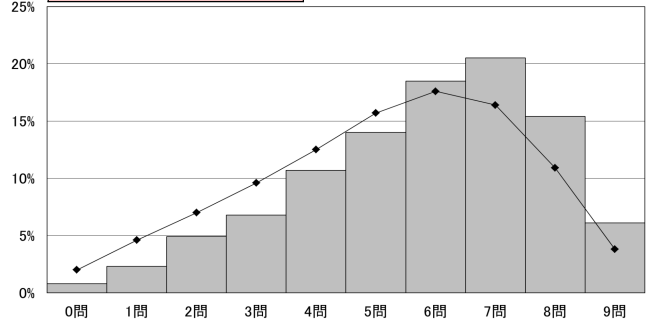
※横軸：正答数、縦軸：児童生徒の人数の割合

※棒グラフ：秋田県、折れ線グラフ：全国

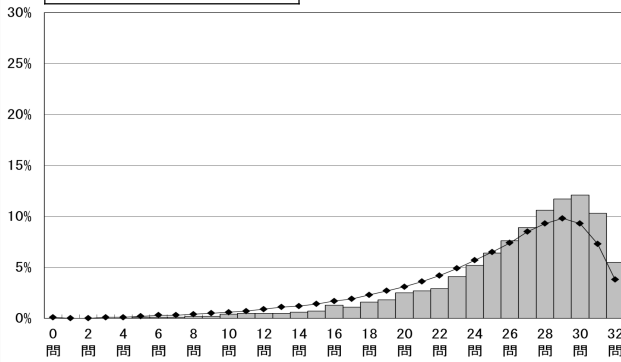
〈小学校国語A〉



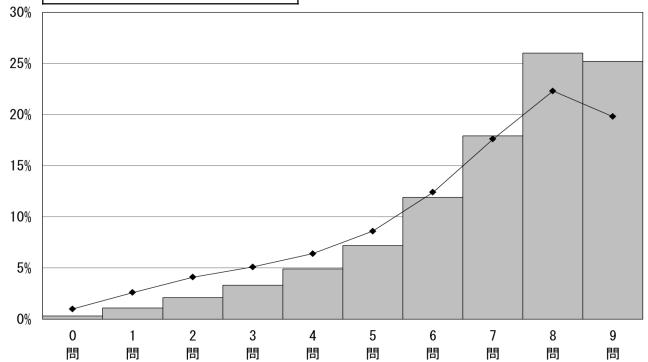
〈小学校国語B〉



〈中学校国語A〉



〈中学校国語B〉

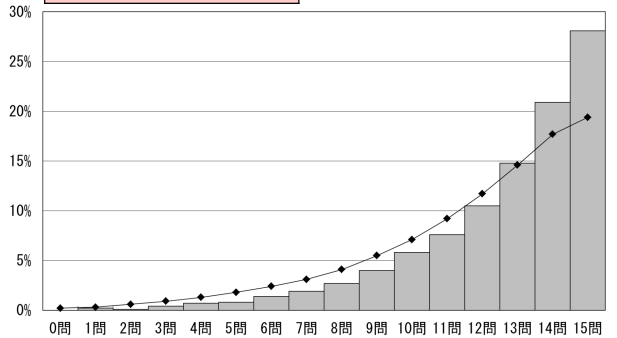


【算数・数学】

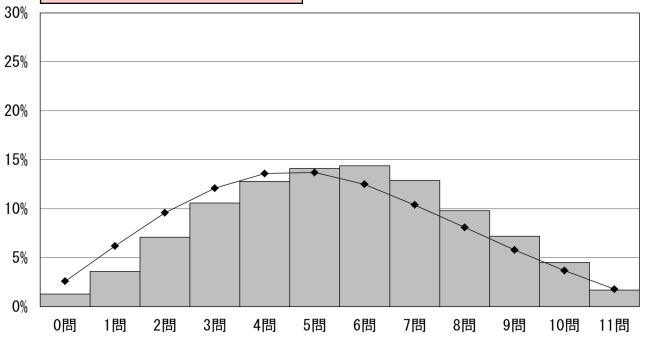
※横軸：正答数、縦軸：児童生徒の人数の割合

※棒グラフ：秋田県、折れ線グラフ：全国

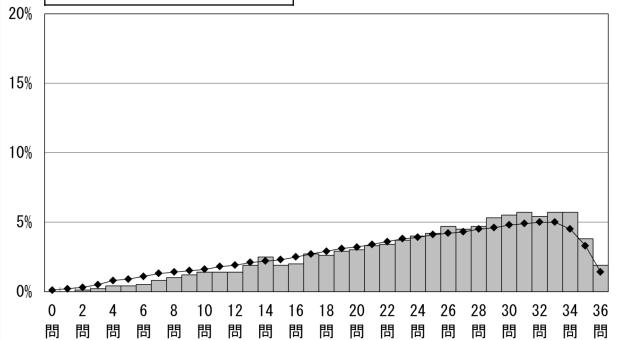
〈小学校算数A〉



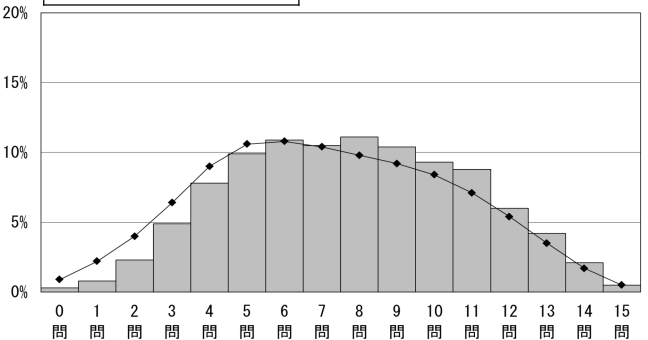
〈小学校算数B〉



〈中学校数学A〉



〈中学校数学B〉



各教科の成果と課題

【国語】

- 平均正答率では、小・中学校ともに、知識に関する問題（A問題）及び活用に関する問題（B問題）において全国平均を4ポイント以上上回っている。また、A問題よりもB問題の方が、全国平均を上回っている。
- 小学校では、目的や意図に応じて、文章などから必要な情報を取り出して書くことや、話合いの前後の流れを手掛かりにして発言の意図を捉えることに課題がある。
- 中学校では、文章を読んで感じたことや考えたことについて根拠を明確にして書くことや、場面や状況に即した言葉を用いて表現することに課題がある。

●課題となる問題

	問題番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		秋田県	全国		
小学校	B2三	41.5	33.0	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の「イ」に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く。	目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
	B3二	33.1	28.0	「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する。	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える。
中学校	A9五	46.2	35.8	話合いの記録として適切な言葉を考える。	事象や行為などを表す多様な語句について理解する。
	B1三	49.6	41.4	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く。	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。

【算数・数学】

- 平均正答率では、小・中学校ともに、知識に関する問題（A問題）及び活用に関する問題（B問題）において全国平均を3ポイント以上上回っている。
- 小学校では、示された方法や考えを解釈し、それを活用して言葉や式を用いて記述したり、表やグラフの特徴を基に考察したりすることに課題がある。
- 中学校では、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明したり、資料の傾向を捉えて判断の理由を説明したりすることに課題がある。

●課題となる問題

	問題番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		秋田県	全国		
小学校	B3(2)	26.5	26.1	仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。	仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を、言葉や式を用いて記述できるかどうかをみる。
	B4(2)	37.3	29.3	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。	割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができるかどうかをみる。
中学校	A2(1)	59.3	56.3	5mの重さがagの針金の1mの重さを、aを用いた式で表す。	数量の関係を文字式で表すことができる。
	B2(3)	18.8	14.5	六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を、 $6+5(n-1)$ という式で求めることができる理由を説明する。	事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかをみる。
	B5(3)	16.0	17.6	「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

児童生徒質問紙調査の結果

※数値は「している」「どちらかといえばしている」等、肯定的な回答の割合（%）
 （ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「している」等と回答した割合（%）

【生活習慣】

○全体として、望ましい生活習慣が定着していると考えられる。

質 問 事 項	小学校 6 年生		中学校 3 年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
朝食を毎日食べていますか。	97.0 (90.6)	+ 1.6 (+ 3.6)	96.1 (87.9)	+ 2.9 (+ 5.2)
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	85.1 (44.6)	+ 5.3 (+ 6.4)	80.3 (37.1)	+ 4.7 (+ 6.0)

【学習習慣等】

○家庭学習への主体的な取組等、望ましい学習習慣が定着していると考えられる。
 ○中学生は、家庭学習と部活動を両立している様子がうかがえる。

質 問 事 項	小学校 6 年生		中学校 3 年生		
	秋田県	全国比	秋田県	全国比	
家で自分で計画を立てて勉強していますか。	82.6 (48.0)	+18.1 (+18.0)	69.8 (30.4)	+18.3 (+11.8)	
家で学校の授業の復習をしていますか。	91.1 (67.4)	+37.3 (+43.8)	87.3 (54.6)	+36.8 (+35.7)	
学校の部活動に参加していますか。 [新規]			93.4	+ 5.8	
放課後に何をして過ごすことが多いですか。 [新規]	①家で勉強や読書 をしている。 ②学校の部活動に 参加している。	①77.7	+16.8	①51.5	+12.1
土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか。 [新規]		①70.3	+19.1	①37.0	+10.1
土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか。 [新規]		①59.4	+16.6	①61.0	+22.7
			②91.1	+ 9.3	
			②78.5	+ 9.0	
			②37.4	- 2.7	

【豊かな人間性等】

○自己肯定感や他の人を思いやる心が醸成されている様子がうかがえる。
 ○地域や社会の事象への関心やそれらに関わろうとする意欲があることがうかがえる。

質 問 事 項	小学校 6 年生		中学校 3 年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
自分には、よいところがあると思いますか。	86.1 (48.8)	+ 8.2 (+10.2)	79.8 (33.8)	+ 9.1 (+ 5.6)
人が困っているときは、進んで助けていますか。	91.1 (49.0)	+ 5.8 (+10.5)	90.5 (45.6)	+ 6.1 (+10.0)
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	96.2 (78.3)	+ 3.7 (+10.3)	96.0 (78.1)	+ 4.1 (+12.0)
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。	75.9 (36.7)	+12.0 (+ 8.1)	72.1 (29.4)	+12.9 (+ 6.9)
地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	60.1 (22.1)	+17.8 (+ 7.3)	50.1 (15.1)	+16.7 (+ 5.3)

【授業等の教育活動】

- 目標（めあて・ねらい）を基にして児童生徒自らが課題を立てる、課題の解決に向けた話し合いを通じて考えを深めたり広げたりする、学習の成果をまとめたり発表したりする、学習内容を振り返るなど、児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」を意識して取り組むことができている。
- 授業で学んだことをほかの学習や日常生活などの様々な場面で生かす機会を設定し、児童生徒が身に付けた知識・技能等を活用して考えることができている。
- 国語の授業では自分の考えの理由を、算数・数学の授業では公式等の根拠を明らかにするなど、児童生徒が思考・判断・表現する意識をもって学習に取り組むことができている。
- 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりして学ぶ場の設定がなされている。

※数値は「している」「どちらかといえばしている」等、肯定的な回答の割合（%）
（ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「している」等と回答した割合（%）

質 問 事 項	小学校 6 年生		中学校 3 年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
前学年までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。	96.1 (78.6)	+ 7.9 (+20.0)	98.0 (82.1)	+10.2 (+29.0)
前学年までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。	88.9 (47.9)	+13.8 (+18.4)	87.2 (42.0)	+15.9 (+18.3)
前学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	76.8 (32.7)	+11.9 (+ 8.0)	73.2 (26.5)	+15.3 (+ 9.4)
児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	81.7 (40.3)	+13.5 (+13.4)	77.8 (30.2)	+13.0 (+10.5)
前学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。	90.4 (62.4)	+14.2 (+22.1)	88.0 (52.4)	+21.9 (+27.1)
授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか。 [新規]	92.1 (54.3)	+ 9.3 (+16.1)	86.0 (34.9)	+15.1 (+12.4)
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	84.3 (40.4)	+16.3 (+14.3)	82.3 (32.8)	+19.6 (+13.4)
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	86.6 (45.9)	+11.8 (+12.8)	80.8 (34.1)	+14.9 (+11.4)
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	83.9 (51.0)	+14.8 (+15.4)	59.6 (24.4)	+14.3 (+ 7.9)
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠（わけ）を理解するようにしていますか。	91.0 (59.6)	+ 8.4 (+11.4)	82.7 (43.7)	+10.6 (+ 9.7)
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいますか。	94.6 (70.5)	+ 9.5 (+20.0)	87.7 (45.1)	+12.2 (+15.0)
前学年までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。 [新規]	84.8 (49.9)	+14.6 (+15.4)	76.5 (37.8)	+22.8 (+18.4)

学校質問紙調査の結果

◆ 概 要

- 児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」に取り組むことができるよう、問題解決のプロセスを重視した探究型授業の充実を図っている。
- 思考力・判断力・表現力の育成につながるよう、言語活動に重点を置き、児童生徒の多様な考えを引き出す発問や指導を工夫している。
- ティームティーチングによる算数・数学の指導を行っている割合が、小・中学校ともに全国を大きく上回っている。
- 各教科等で身に付けたことを、様々な課題解決に活用できるような機会を設定している。
- ふるさと教育及び地域に根ざしたキャリア教育の取組を通して、児童生徒に自分の将来の姿や地域・社会の事物、人に目を向けさせ考えさせている。
- 教職員が共通理解を図りながら学習指導や研修に取り組むなど、学校全体による組織的な取組のもと、学力向上に向けたPDCAサイクルを確立している。

※数値は「よく行った」「どちらかといえば行った」等、肯定的な回答の割合（％）
 （ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「よく行った」等と回答した割合（％）

質 問 事 項	小 学 校		中 学 校	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。	97.5 (34.0)	+ 6.0 (+11.3)	99.1 (29.3)	+ 9.5 (+ 8.0)
指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか。	99.0 (36.5)	+ 5.1 (+ 5.9)	100 (48.3)	+ 9.0 (+23.6)
前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。	99.0 (43.0)	+ 3.5 (+ 8.1)	99.1 (43.1)	+ 5.2 (+14.9)
国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。	96.0 (33.0)	+ 3.8 (+ 8.5)	93.9 (37.9)	+ 6.4 (+13.6)
算数・数学の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか。	83.5 (60.0)	+17.3 (+36.7)	88.8 (62.1)	+29.9 (+37.9)
前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。 [新規]	88.0 (18.5)	+ 4.7 (+ 2.5)	87.0 (17.2)	+11.8 (+ 5.4)
前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか。 [新規]	95.5 (42.5)	+ 9.6 (+ 8.1)	93.1 (38.8)	+14.7 (+11.2)
前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。	93.0 (37.5)	+17.3 (+18.2)	99.2 (52.6)	+ 1.7 (+ 7.3)
学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか。	99.5 (81.5)	+ 0.7 (+19.0)	99.2 (80.2)	+ 0.8 (+23.7)
前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。	96.5 (67.0)	+ 6.9 (+21.4)	92.3 (48.3)	+10.1 (+14.7)
前年度までに、近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。	78.5 (30.0)	+12.9 (+ 5.1)	88.8 (44.8)	+14.0 (+ 9.9)
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。	95.5 (46.5)	+ 4.0 (+17.6)	99.1 (43.1)	+11.3 (+17.8)

全国学力・学習状況調査の活用

◆概要

- 自校の教育活動の改善に向けて、ほとんどの学校が平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体の教育活動の改善・充実に活用している。
- 保護者や地域の人たちに対して、ほとんどの学校が、調査結果について公表や説明を行ったり、学力向上の取組について働きかけを行ったりしている。
- ほとんどの学校が、全国学力・学習状況調査の結果を県独自の学力調査の結果と併せて分析し、PDCAサイクルを確立している。

◎学校質問紙調査結果より

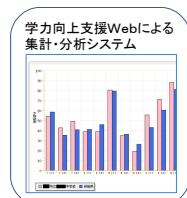
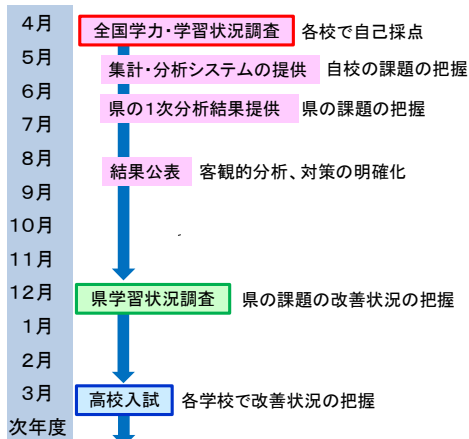
※数値は「よく行った」「どちらかといえば行った」等、肯定的な回答をした割合(%)

()内は、肯定的な回答のうち「よく行った」と回答した割合(%)

質問事項	小学校		中学校	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか。	100 (75.5)	+ 1.7 (+21.8)	99.1 (69.8)	+ 1.8 (+26.3)
平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。	99.5 (62.0)	+ 2.9 (+17.6)	97.5 (57.8)	+ 3.1 (+22.4)
平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む。)	98.0 (35.5)	+ 7.2 (+ 2.3)	94.8 (37.9)	+ 8.0 (+ 6.7)
平成28年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。	95.0 (23.0)	+ 5.1 (- 1.3)	92.2 (24.1)	+ 8.8 (+ 4.1)
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。	98.5 (55.5)	+ 5.0 (+21.1)	96.6 (55.2)	+ 6.5 (+27.6)

○県教育委員会は、調査を有効に活用し、全国学力・学習状況調査、県学習状況調査及び高校入試を一体として捉えた検証改善サイクルの充実を図ることで、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成に努めています。

全国学力・学習状況調査、県学習状況調査、高校入試を一体として捉えた検証改善サイクル



県教育委員会の取組

☆学力向上関連事業等


◆これまでの主な事業等

- 少人数学習推進事業 [少人数学級、ティーム・ティーチング等による少人数授業] (H13～)
- 学習状況調査事業 (H14～)
- 教育専門監の配置 (H17～、義務教育課はH18～)
- 秋田わか杉っ子 学びの十か条 (H20～)
- 秋田わか杉 七つの「はぐくみ」(H27～)
- 小学校外国語活動教員研修事業 (H21～)
- 算数・数学学力向上推進事業 (H17～22)
- 学力向上推進事業 (H23～)
- “「問い」を発する子ども”の育成のための指針の作成 (H24)

◆今年度の事業等

- 少人数学習推進事業
 - ・小学校第1学年から中学校第3学年までの全ての学年で少人数学習を実施
- 学力向上推進事業
 - (1)学習状況調査事業
 - (2)あきたの教育力充実事業
 - ①学力向上支援事業
 - ・教科指導CTの活用による指導力向上プロジェクト
 - ・学校訪問指導
 - ・学力向上支援Web活用
 - ・理数才能育成プロジェクト ー科学の甲子園ジュニア秋田県大会ー
 - ②あきたの教育力発信事業
 - ・検証改善委員会による全国学力・学習状況調査の分析・提言
 - ・学力向上フォーラムの開催 (平成29年11月17日、18日 秋田市)
 - ・新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト (H27～29)
- キャリア教育実践研究事業
 - ・キャリア教育市町村担当者等連絡協議会 (県内の学識経験者、市町村教育委員会担当者等で構成)
 - ・キャリア教育実践研究協議会
- あきた発! 英語コミュニケーション能力育成事業
 - ・小・中・高の連携により、英語によるコミュニケーション能力を身に付けた子どもの育成を目指す

資料



秋田わか杉 七つの「はぐくみ」

- 一 早寝早起き朝ごはん
生活リズムは全ての基本
- 二 元気なあいさつ 明るい返事
規則約束守るわか杉
- 三 読んで話して書いて高める
「問い」を発する思考力
- 四 問題解決 子どもが主体
授業の続きは家庭で学習
- 五 職場体験 インターンシップ
地域で育む子どものキャリア
- 六 学校や地域の話題で語り合い
将来の夢 家族でえがく
- 七 ふるさとを支える自覚と志
みんなで作る未来の秋田

※本県の未来を担う子どもたちを「わか杉」と呼んでいます。

“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”の作成の経緯、基本的な考え方

県教育委員会では、平成27年度に“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”を作成いたしました。

全国学力・学習状況調査（文部科学省）において、全国トップレベルを維持している本県の学力やその基盤となる様々な要因については、全国からはもちろんのこと、海外からも注目されることとなりました。

第2期あきたの教育振興に関する基本計画を策定し、「教育立県あきた」の実現を目指す今、児童生徒質問紙調査等から見える児童生徒を主体とした授業づくり、家庭学習の習慣、家庭や地域の教育力等、本県の財産とも言えるオール秋田でつくるすばらしい教育環境を“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”として発信し、「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を目指したいと考えております。

(参考) 児童生徒質問紙調査 過去の結果との比較

※数値は「している」「どちらかといえばしている」等、肯定的な回答をした割合(%)
()内の数値は、肯定的な回答のうち「している」と回答した割合(%)
※「過去」に記載の年度は、その質問事項の初出の年度

質 問 事 項	小学校6年生		中学校3年生	
	過 去	H29	過 去	H29
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	H20 64.2 (28.7)	H29 82.6 (48.0)	H20 41.7 (12.3)	H29 69.8 (30.4)
家で、学校の授業の復習をしていますか	H19 74.5 (39.1)	H29 91.1 (67.4)	H19 63.1 (24.2)	H29 87.3 (54.6)
授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	H25 95.3 (75.2)	H29 96.1 (78.6)	H25 92.9 (62.0)	H29 98.0 (82.1)
授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	H25 90.4 (57.6)	H29 90.4 (62.4)	H25 80.7 (34.6)	H29 88.0 (52.4)